

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年01月20日

計画の名称	町民及び周辺市町住民のための防災拠点の整備														
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	函南町														
計画の目標	本公園は田方広域都市計画に位置付けられた田方広域都市圏の中心的な運動公園で、第2次緊急輸送路に静岡県指定されている熱函道路を接続道路とし、都市計画決定がされている伊豆縦貫自動車道のインターチェンジ付近及び海拔100m～150mに位置付けられており、近い将来発生が懸念される東海地震等の震災時には多目的運動広場を利用したヘリポート、空路・陸路を利用した救援物資の集積所及び地震・津波等により被災された町民ならびに周辺住民のために活動する自衛隊の活動拠点として広域連携を図り防災拠点として役割を担う防災公園としての活用を目指す。また、自然環境を活用しながら広く住民の健全なスポーツ・レクリエーションの場として整備を行い、余暇時間の拡大に伴うスポーツ・レクリエーション施設を求める町民ならびに周辺市町住民の憩いの場、健康づくりの場としての活用を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28度当初		H33度末
1	災害時における仮設住宅の建設戸数を106戸（H28度当初）から、第2駐車場及び芝生広場を整備することにより146戸（H33度末）に増加させる。			
	災害時における仮設住宅の建設戸数	106戸	戸	146戸
2	発災時自衛隊災害派遣者受入れ可能数を7,792人（H28度当初）から、第2駐車場及び芝生広場を整備することにより8,446人（H33度末）に増加させる。			
	発災時自衛隊災害派遣受入れ可能者数を第2駐車場（約2,800㎡）に収容できる人数を算出する。 災害派遣者数＝多目的広場（約22,000㎡）＋芝生広場（約11,400㎡）＋第2駐車場（約2,800㎡）/3㎡（最低必要面積）×0.7（通路・共用スペース）	7792人	人	8446人
3	管理棟隣接地に中央広場（A＝約900㎡）を整備することにより、災害時に仮設テント、テーブル等を配置し、災害派遣者への指示事項等を伝える集合場所としてのスペースを確保する。			
	管理棟隣接地に中央広場（A＝約900㎡）を整備する。	0㎡	㎡	900㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	函南町	直接	函南町	-	-	函南運動公園	町民及び周辺市町住民のための 防災拠点整備	函南町	■					60	1.52	未策定	
												小計						60		
											合計						60			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体により実施	令和4年12月
	公表の方法
	函南町ウェブサイトによる
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成30年度9月定例会において審議の結果、事業の見直しを求められた。このことにより、事業が一時中止となり定量的指標に関する事業効果を発現することが出来なかった。 しかしながら、平成29年度に実施した第二調整池掘削工事及び流末水路整備工事により、令和元年10月に当町及び近隣市町に甚大な災害をもたらした台風第19号襲来時、公園流域の降水を第二調整池掘削部に貯留し流末水路にて抑制し排水したことにより、下流域の浸水被害の軽減及び公園に隣接する主要地方道で第1次緊急輸送路に指定されている県道への被災を防ぐことが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
函南運動公園は、函南町地域防災計画において災害時の活動拠点として位置づけられており、災害時には多目的運動広場をはじめとした施設を使用し、防災拠点として役割を担う防災公園としての活用を目指す。現在、庁内再整備計画策定委員会において町民のニーズの変化に対応した再整備計画を策定中であり、策定次第事業を再開する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	146戸	平成30年度9月定例会において審議の結果、事業の見直しを求められたことにより、事業が一時中止となり目標を達成することが出来なかった。 。
	最 終 実績値	0戸	
2			
	最 終 目標値	8446人	平成30年度9月定例会において審議の結果、事業の見直しを求められたことにより、事業が一時中止となり目標を達成することが出来なかった。 。
	最 終 実績値	0人	
3			
	最 終 目標値	900㎡	平成30年度9月定例会において審議の結果、事業の見直しを求められたことにより、事業が一時中止となり目標を達成することが出来なかった。 。
	最 終 実績値	0㎡	